



大阪赤十字病院より 地域の先生方へ News Letter

2026年7月

乳腺外科よりお届けする“Breast Network News”



乳腺外科 主任部長 露木 茂

広報誌‘La Confiance’で掲載しておりました“Breast Network News”をNews Letterでお届けします。
日々の診療にお役に立てるように、定期的に乳腺疾患について情報発信を行ってまいります。

地域連携の取り組みの報告

第8回うえまち乳腺連携会

2026年1月31日開催

地域の先生方への乳腺診療情報共有を目的に開催し、約20名のクリニックの先生方にご参加いただきました。

京都大学乳腺外科教授・増田慎三先生をお招きし、乳癌治療の基礎から最新の知見まで、日常診療に活かせる内容をわかりやすくご講演いただきました。

本連携会が、地域の先生方の日々の診療の一助となり、乳癌診療連携のさらなる充実につながれば幸いです。

今後も年1回の開催を予定しております。
ぜひご参加ください。

Program

「当院におけるHER2低発現乳癌の治療実績」

当院乳腺外科 医長 康 裕紀子

「一人ひとりに最適な乳癌診療のすすめ」

京都大学乳腺外科 教授 増田 慎三 先生

今後も地域の皆さまへの啓発活動を
継続してまいります。

第8回大阪赤十字病院市民公開講座

2026年2月5日開催

49名の市民の皆さまにご参加いただきました。
乳癌治療、乳房再建、遺伝医療について、多くのご質問をいただき、理解を深めていただける機会となりました。

Program

「乳癌治療の最前線」

当院乳腺外科 主任部長 露木 茂

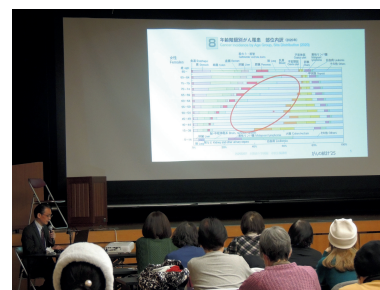
「乳房再建って、今どうなってるの？」

当院形成外科 主任部長 内藤 浩

「乳がんって遺伝するの？」

京都大学大学院ゲノム医療学

認定遺伝カウンセラー 鳥嶋 雅子 先生



血縁者へのBRCA検査、予防切除が、保険診療で実施可能になります

診療報酬の改訂により、**6月から**下記の検査、手術が保険診療で実施可能になります。

対象者は？・・・遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）と診断された方の両親、兄弟姉妹、子

保険診療で実施可能になるのは？・・・1.BRCA検査 2.BRCA検査陽性者への乳房・卵巣のリスク低減手術（予防切除）

※まだ算定可能な検査・術式等に関する情報が十分ではないため、今後、内容の変更や追加が生じる可能性がありますことを、あらかじめご了承ください。

今後は、癌患者のみでなくその血縁者も、HBOCのリスク評価ができ、リスク低減手術ができ、多くの方が乳がん、卵巣がんの発症を未然に予防できるようになります。

News Letterに関するお問い合わせ



日本赤十字社 大阪赤十字病院

連絡先（地域医療連携室直通）

TEL:06-6774-5127

FAX:06-6774-5126

FAX予約受付時間 ※受信は24時間対応

平日 8:30～20:00

土曜日 8:30～13:00

祝日・年末年始(12/29～1/3)、創立記念日(5/1)は除く

News Letterでは、新任医師の紹介や診療体制、施設・設備に関する最新情報などをお届けします。



診療科のご案内

乳腺外科

— 高度な専門性と継続支援を両立した乳腺診療 —

特色

乳腺疾患の診断から治療、長期フォローアップまで一貫して対応

乳がんをはじめとする乳腺疾患に対し、専門性の高い診療を提供しています。乳腺専門医を中心に、乳癌認定看護師、認定遺伝カウンセラーなど多職種が連携し、患者さん一人ひとりに適した治療方針を提案しています。放射線診断科、放射線治療科、病理部、臨床検査部との合同カンファレンスを通じて、診断から手術、薬物療法、放射線治療まで包括的な診療体制を構築しています。また、形成外科と連携した乳房再建にも積極的に取り組んでいます。

遺伝性乳がんの診療とリスク低減手術

HBOCに対する専門的な診療体制

日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療機構（JOHBOC）認定連携施設として、臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラーを中心に専門的なHBOC診療を行っています。BRCA1/2遺伝学的検査、遺伝カウンセリング、乳房・卵巣卵管のリスク低減手術（予防切除）、サーベイランスまで一貫して対応し、産婦人科や消化器内科、泌尿器科とも連携した包括的な診療体制を整えています。

2020～2025年には492例のBRCA1/2遺伝学的検査を実施し、病的バリエント陽性率は6.5%でした。2026年6月からは、HBOC患者さんの血縁者に対するBRCA1/2遺伝学的検査やリスク低減手術も保険診療の対象となり、患者さんとそのご家族に対するより充実した遺伝診療を提供しています。

副作用対策 ～臨床研究に基づく支持療法の実践～

化学療法に伴う末梢神経障害やリンパ浮腫などの副作用対策に力を入れています。当院で開発した圧迫療法は、多施設共同臨床試験において有効性が示され、国際学会や学術論文でも報告されています。さらに、新たな圧迫療法の開発・検証を進めるなど、支持療法の向上に積極的に取り組んでいます。また、リンパ浮腫外来では専門スタッフによる継続的な指導・ケアを行い、患者さんのQOL向上を支援しています。

長期フォローアップと集学的ケア

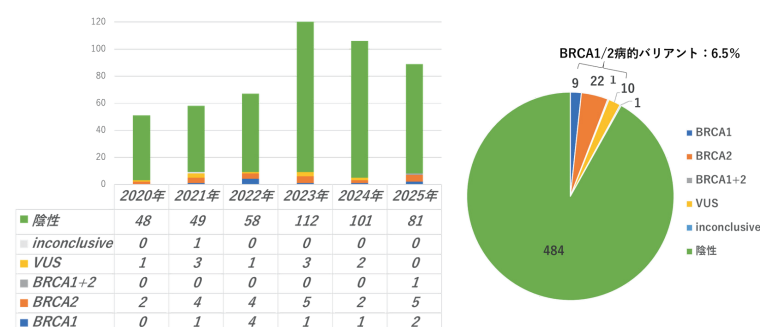
乳がん患者さんの術後フォローアップ期間は、最低10年間と長いため、近隣の紹介医の先生方に協力していただき、「乳がん術後連携パス」を用いて、かかりつけ医としての紹介医と、当科担当医との「二人の主治医」体制で共同のフォローアップを行っています。

再発乳がん治療において、前述の各部門との連携した集学的ながん治療に加え、なるべく早期から緩和ケア科による介入を図っています。

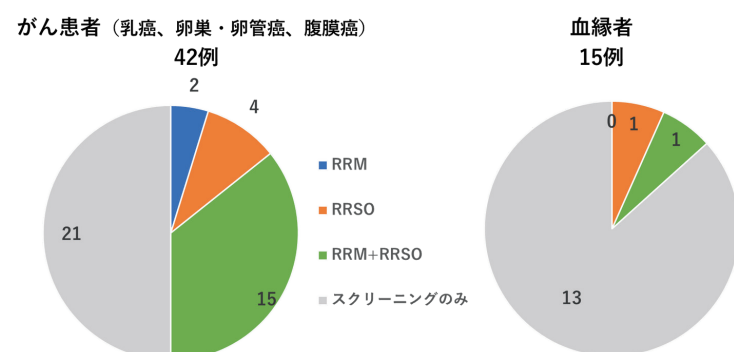
主な診療分野

- 乳がん（非浸潤がん・浸潤がん・Paget病）
- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）
- 葉状腫瘍
- 線維腺腫
- 乳腺症
- 女性化乳房症
- 乳腺炎
- その他乳腺良性疾患

当科における
BRCA遺伝学的検査件数とBRCA病的バリエントの割合
2020 - 2025年



当院における
BRCA陽性のがん患者さんと血縁者のリスク低減手術（予防切除）
2020 - 2025年



実際の乳がん初期治療の流れ

